

学校体育通信 「やまぐちっ子の元気」

創刊号 H24(2012).10.1 山口県教育庁学校安全・体育課 学校体育班

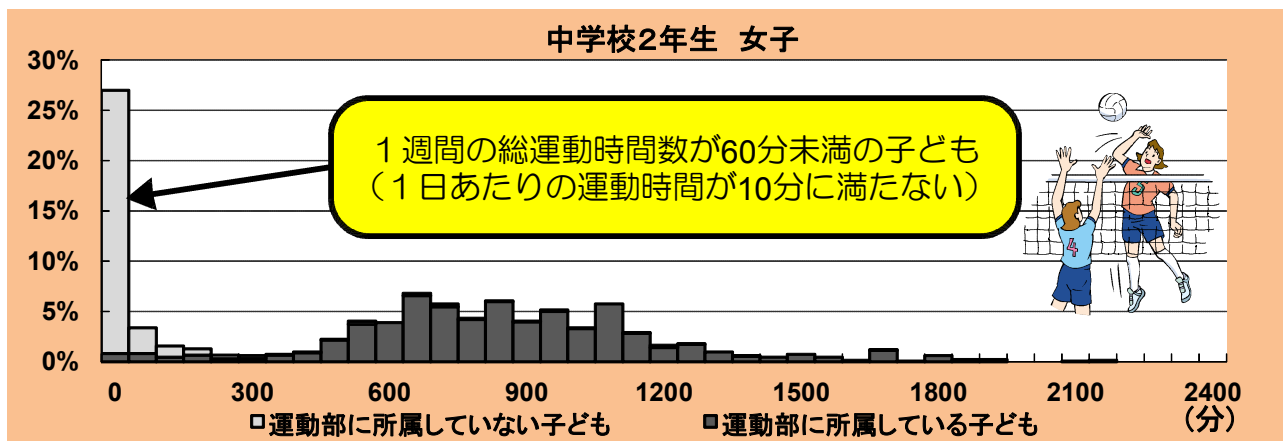
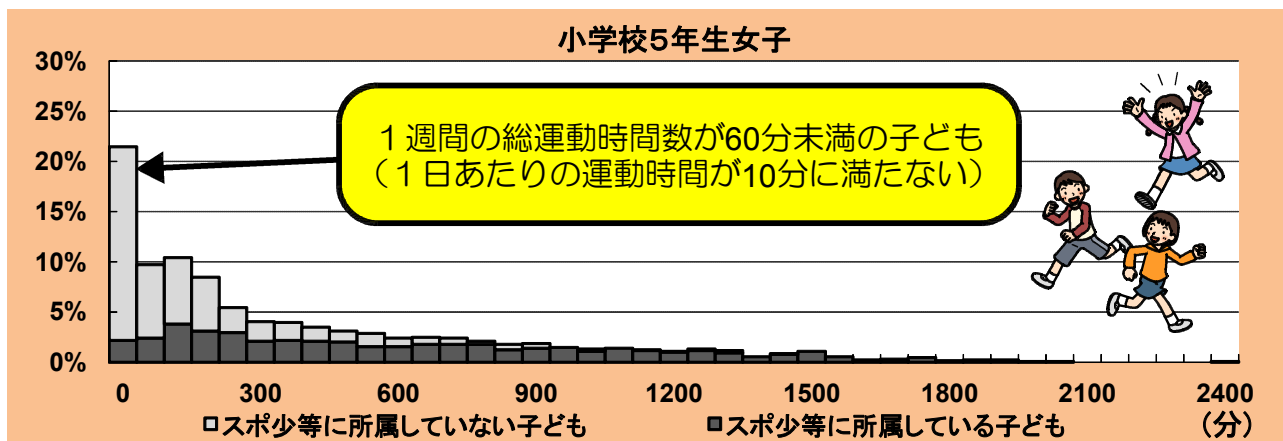
創刊にあたって

『どこか動きがぎこちない子どもが増えた』
『自分の体を支えることができない子どもが増えた』
『すぐ疲れる子どもが増えた』

日々、子どもたちと接している先生方の実感ではないでしょうか。平成17年頃から、山口県の子どもの体力は向上傾向にあるものの、昭和60年頃と比較するとまだまだ低い状況にあります。この要因の一つとして、体育の授業以外に運動をしたり体を動かして遊んだりする時間の少なさが考えられます。下のグラフは、山口県の子どもの1週間の総運動時間数を表したものです。

山口県の子どもの1週間の総運動時間数（体育の授業以外）の分布

（平成22年全国体力・運動能力、運動習慣等調査より）



女子については、実に小学校5年生で約21%、中学校2年生で約26%の子どもが、1日あたりの運動実施時間（外遊びも含む）が10分未満です。（※男子は、小学校5年生で約8%、中学校2年生で約6%）学習指導要領解説総則編では、「体力は、人間の活動の源であり、健康の維持のほか意欲や気力といった精神面の充実に大きくかかわっており、生きる力を支える重要な要素である」としており、運動実施時間の少ない子どもの多さは、子どもの心身の調和的発達を図る上で、重要な課題です。

山口県では、子どもの知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育むために、平成16年度から「子ども元気創造の推進」に取り組んでいます。子どもの体力向上に向けては、以上の課題を踏まえ、平成23年度から次の3つを柱に、県内全ての小・中学校での取組を進めています。

柱1 体育科・保健体育科授業の改善と充実

- 運動の楽しさや体を動かす心地よさを味わわせ、運動好きな子どもを育成する授業
- 適切な運動量を確保した授業
- 運動の仕方や体力の高め方がわかる授業

柱2 子どもの実態を踏まえた1校1取組の推進

- 定期的・継続的な取組の実施による運動時間の確保
- 「運動実施時間が少ない子ども」「運動が苦手な子ども」への支援

柱3 家庭・地域と連携した取組の促進

- 子どもの体力に関する家庭や地域の関心の喚起（学校通信、学校保健委員会等の活用）
- 学校以外での運動の機会の確保（PTA、子ども会、放課後児童クラブ、おやじの会等との連携）

学校体育通信「やまぐちっ子の元気」では、以上の3つの柱について、各学校の取組が一層充実するように、授業例、技能指導のポイント、1校1取組や家庭・地域と連携した取組の実践例等を紹介してまいります。各学校にメールで送付することにより、全教職員のお手元に届くようにお願いをしていますので、授業等で御活用ください。

◆資料・研修会情報◆

■学校体育実技指導資料 第7集「体づくり運動－授業の考え方と進め方－」(改訂版)

・文部科学省 HP からダウンロード可能（販売はもう少し先の予定）

http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/1325499.htm

■中学校ダンス指導者講習会

【主催】山口県教育委員会 【会場】山口県セミナーパーク体育館

【日時】平成24年10月11日（木）及び10月12日（金）9:50～16:30

・10月11日か10月12日のどちらかを選択して受講

【内容】フォークダンス・創作ダンス・現代的なリズムのダンス

※申込方法及び講習会の詳細については、平24教安体第506号(H24.9.7)参照

■第51回中・四国小学校体育研究大会山口大会プレ大会

【主催】山口県小学校体育連盟 山口県小学校教育研究会

【日時】平成24年10月19日（金）9:25～16:30

【会場】山口市立大内南小学校 山口市立大内小学校

【内容】公開授業12授業 分科会（各領域） 講話：白旗和也・森良一 教科調査官

※申込方法及び大会の詳細については、山口県小学校体育連盟 HP 参照

■平成24年度山口県学校体育・地域社会武道(柔道)指導者研修会

【主催】(財)日本武道館 山口県武道振興協議会 山口県教育委員会 他

【日時】平成24年11月1日（木）9:00～16:20

【会場】維新百年記念公園スポーツ文化センター武道館

【内容】柔道の基本の動作、安全な対人技能の指導の仕方

※申込方法及び研修会の詳細については、平24教安体第554号(H24.9.25)参照